



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門長 (氏名) 山崎 浩 TEL 03-5286-6231
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

百万円未満切捨て

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	29	△13.5	△329	—	△297	—	△297	—
26年12月期第2四半期	34	△28.5	△316	—	△292	—	△293	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 △327百万円 (ー%) 26年12月期第2四半期 △315百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△34.35	—
26年12月期第2四半期	△34.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	2,682	2,489	92.8	287.00
26年12月期	3,051	2,817	92.3	324.80

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,489百万円 26年12月期 2,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90	4.3	△1,100	—	△1,085	—	△1,090	—	△125.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	8,674,419株	26年12月期	8,674,419株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	127株	26年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	8,674,292株	26年12月期2Q	8,591,916株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策等の継続に伴い、円安の進行および株価の上昇傾向が続き緩やかな回復基調となりました。その一方で、円安による輸入産業の停滞や海外経済の成長に減速感が見られるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、政府が再生医療の研究開発に必要となる細胞の輸入規制緩和に向けた動きなどが見られました。また、一般社団法人 再生医療イノベーションフォーラム

(FIRM)より再生医療産業化拠点実証タスクフォース(Regenerative Medicine Industrialization Task Force (以下RMIT))設立の発表がありました。RMITには当社も参画しており、再生医療産業の発展のため、海外の再生医療ビジネスを日本へ誘致すべく、パートナーリングや規制当局との仲介等、再生医療のインバウンドビジネスを拡充するための活動を開始しています。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は29,589千円(前年同四半期比4,618千円の減少)、営業損失は329,152千円(前年同四半期比12,494千円の増加)、経常損失は297,249千円(前年同四半期比4,752千円の増加)、四半期純損失は297,939千円(前年同四半期比4,379千円の増加)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する共同研究開発活動に取り組みました。また販売面では、営業人員を増員して積極的な販売促進活動に取り組みつつ、引き続き新規導入商材の開発に向けた探索・選定活動を推進いたしました。

以上のような活動の結果、売上高は29,589千円(前年同四半期比4,618千円の減少)、営業損失は28,385千円(前年同四半期比2,823千円の増加)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

平成27年5月に、欧州における食道再生上皮シートを中心とした細胞シート再生医療事業の開発を積極的に推進していくことを目的として連結子会社をスウェーデンに設立いたしました。また平成27年6月にはスウェーデン ストックホルムで開催された第13回International Society for Stem Cell Research (ISSCR)に参加し、食道再生上皮シートの開発状況について説明を行いました。

以上のような活動の結果、営業損失は164,305千円(前年同四半期比22,146千円の増加)となりました。(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて376,823千円減少し、2,641,568千円となりました。これは主に、現金及び預金が333,929千円減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて7,776千円増加し、40,706千円となりました。これは、投資その他の資産が7,776千円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて369,046千円減少し、2,682,275千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて41,152千円減少し192,716千円となりました。これは主に、未払金が8,883千円及び前受金が22,239千円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて41,152千円減少し、192,716千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて327,894千円減少し、2,489,558千円となりました。これは主に、四半期純損失297,939千円を計上したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて1,096,386千円減少し2,587,533千円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は318,203千円(前年同四半期比18,526千円の支出減)となりました。これは主に、補助金の受取額14,810千円及び税金等調整前四半期純損失297,249千円を計上したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は17,272千円(前年同四半期比18,854千円の収入増)となりました。これは、敷金の回収による収入7,553千円及び有形固定資産の売却による収入9,719千円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は、新株予約権の発行による支出750千円であります(前年同四半期は1,355,369千円の収入)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は2,921,463千円となり、財務基盤については一定水準を保持して推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と器材事業の拡充による収益機会の獲得

当社グループは、今後、当社が優先的自社開発パイプラインとして設定した食道上皮再生シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、またその関連周辺機器の開発を拡充し、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,921,463	2,587,533
売掛金	18,346	14,344
商品及び製品	13,582	10,094
貯蔵品	14,208	12,916
前払費用	15,685	5,871
その他	35,107	10,808
流動資産合計	3,018,392	2,641,568
固定資産		
投資その他の資産	32,929	40,706
固定資産合計	32,929	40,706
資産合計	3,051,322	2,682,275
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,631	7,775
未払金	54,434	45,550
未払法人税等	14,193	4,077
前受金	144,738	122,499
その他	18,871	12,812
流動負債合計	233,869	192,716
負債合計	233,869	192,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,310,466	2,778,203
資本剰余金	5,290,466	-
利益剰余金	△7,871,723	△346,932
自己株式	△201	△201
株主資本合計	2,729,008	2,431,069
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	88,444	58,489
その他の包括利益累計額合計	88,444	58,489
純資産合計	2,817,452	2,489,558
負債純資産合計	3,051,322	2,682,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	34,208	29,589
売上原価	24,372	14,243
売上総利益	9,836	15,346
販売費及び一般管理費		
研究開発費	98,987	134,646
その他	227,507	209,852
販売費及び一般管理費合計	326,495	344,499
営業損失(△)	△316,658	△329,152
営業外収益		
受取利息	264	251
補助金収入	36,763	35,054
為替差益	13	—
その他	296	395
営業外収益合計	37,337	35,700
営業外費用		
為替差損	—	3,046
株式交付費	5,070	—
支払手数料	7,893	750
その他	211	—
営業外費用合計	13,175	3,796
経常損失(△)	△292,496	△297,249
税金等調整前四半期純損失(△)	△292,496	△297,249
法人税、住民税及び事業税	1,062	689
法人税等合計	1,062	689
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△293,559	△297,939
四半期純損失(△)	△293,559	△297,939

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△293,559	△297,939
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△21,532	△29,955
その他の包括利益合計	△21,532	△29,955
四半期包括利益	△315,091	△327,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△315,091	△327,894
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△292,496	△297,249
減価償却費	1,000	355
受取利息	△264	△251
為替差損益(△は益)	915	683
補助金収入	△36,763	△35,054
株式交付費	5,070	—
支払手数料	7,893	750
売上債権の増減額(△は増加)	△7,947	4,001
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,796	4,779
その他の流動資産の増減額(△は増加)	797	7,502
仕入債務の増減額(△は減少)	336	6,144
未払金の増減額(△は減少)	△32,422	△8,940
前受金の増減額(△は減少)	3,741	—
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△4,234	△14,598
小計	△352,578	△331,876
利息の受取額	220	200
補助金の受取額	17,411	14,810
法人税等の支払額	△1,783	△1,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	△336,729	△318,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金の差入による支出	△27	—
敷金の回収による収入	—	7,553
有形固定資産の取得による支出	△1,388	—
有形固定資産の売却による収入	—	9,719
無形固定資産の取得による支出	△166	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,581	17,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	854,024	—
新株予約権の発行による収入	9,238	—
新株予約権の発行による支出	—	△750
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	492,107	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,355,369	△750
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,866	△32,249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	995,192	△333,929
現金及び現金同等物の期首残高	2,688,727	2,921,463
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,683,919	2,587,533

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年3月27日開催の定時株主総会の決議により、資本金2,532,263千円、資本準備金5,290,466千円をそれぞれ減少しその他資本剰余金に振替え、振替後のその他資本剰余金7,822,730千円の全額を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補に充当しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における資本金は2,778,203千円、資本剰余金は一円となっております。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,208	—	34,208	—	34,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,208	—	34,208	—	34,208
セグメント損失(△)	△25,561	△142,158	△167,719	△148,938	△316,658

(注)1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△148,938千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,589	—	29,589	—	29,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,589	—	29,589	—	29,589
セグメント損失(△)	△28,385	△164,305	△192,690	△136,462	△329,152

(注)1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△136,462千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

- 3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。